

平成21年度

大阪市立大学大学院法学研究科法曹養成専攻入学者選抜試験

【2年短縮型】

法律科目試験問題：民事訴訟法(配点:100点)

注意事項

- 1 問題冊子は、監督者が「解答始め」の指示をするまで開かないこと。
- 2 問題冊子は、全部で2ページである。
解答用紙は、全部で8ページである。
問題冊子、解答用紙に脱落のあった場合には申し出ること。
- 3 解答用紙の上部所定欄に、1ページには氏名、受験番号、試験の科目名を、2ページ以降は各ページに氏名を忘れずに記入すること。
- 4 解答は、第1問は1ページから、第2問は5ページから記入すること。
- 5 解答以外のことを書いたときは無効とすることがある。
- 6 机上に各自の「受験票」と「大学入試センター法科大学院適性試験受験票」を出しておくこと。
- 7 解答用紙は、8ページを超えて使用することはできない。

(民事訴訟法)

第1問

訴訟において、証明責任は、当事者と裁判所のそれぞれにとってどのような役割を果たすか。証明責任を定義したうえで論じなさい。

(配点：40点)

(民事訴訟法)

第2問

Xは、自分が所有する土地（以下「本件土地」という）をYに売却して所有権を移転し、その旨の登記を経由したが、後に、Yに対して、本件土地の売買契約は通謀虚偽表示を理由に無効であると主張して、XからYへの所有権移転登記の抹消手続を求める訴えを提起した。これについて、以下の各問いに答えなさい。

問1 Xの主張が認められてXの請求を認容する判決が言い渡され、その判決がそのまま確定した（以下「前訴確定判決」という）。しかし、Yは、判決言渡しの直後に、本件土地をZに譲渡し、Zへの所有権移転登記を経由した。そこで、Xは、Zに対して、YからZへの所有権移転登記の抹消手続を求める訴えを提起した。この場合に、前訴確定判決の既判力がZに及ぼす影響について論じなさい。

問2 XのYに対する所有権移転登記抹消手続請求訴訟が第一審に係属している最中に、Yは、Zに本件土地を譲渡し、YからZへの所有権移転登記を経由した。この事実を訴訟の第一審係属中に知ったXは、どのような対策を講じることができるかを論じなさい。

(配点：60点)